

教育

管内においては、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人及び心豊かにともに支え合い、ふるさと・日高に誇りをもつ人を育てるために、学校、家庭、地域社会及び行政が一体となり、地域の豊かな自然や特色ある歴史・文化などの教育資源を生かした教育活動を推進しています。

学校教育においては、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた生きる力を育む教育活動を展開し、公教育としての責任を果たすとともに、家庭や地域からの信頼に応える学校づくりに努めています。

また、社会教育においては、地域住民の参画や協働による社会教育活動をとらして、心の豊かさをもたらす潤いある地域づくりに取り組んでいます。



様似町立様似中学校における「アポイドリームプロジェクト」アポイ岳への高山植物の苗の植え替えの様子

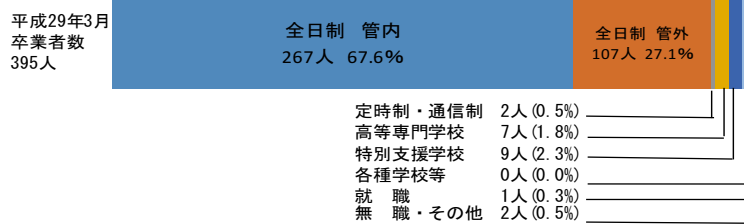
■学校の状況

(H29. 5. 1現在)

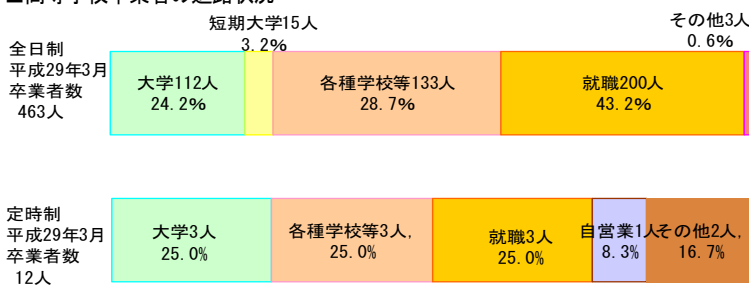
区分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		中等教育学校		特別支援学校	
	園数	在園者数	校数	児童数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
管内	5	310	28	3,251	15	1,667	7	1,365	—	—	2	119
全道	438	51,182	1,061	245,504	611	131,051	283	126,798	2	1,415	72	5,817

■中学校卒業生の進路状況

高等学校進学者376人(95.2%)



■高等学校卒業生の進路状況



■社会教育・社会体育施設等の状況

道の担当部署	区分	日高町	平取町	新冠町	新ひだか町	浦河町	様似町	えりも町
社会教育関係施設	公民館(中央館・地区館)	1	3		1		1	
	公民館類似施設	3			1			1
	図書館	2	1		2	1	1	
	※図書館同種施設			1				1
	博物館	1	1		1	1		
	※博物館類似施設(資料館)	2		1	1	1	1	2
	美術館					1		
	青年の家			1				
	青少年自然の家	1						
	※青少年会館	2	1			3		
文化施設	※女性会館				1			
	文化センター(会館)			1		1		
	体育館	2	3	2	4	3	2	3
	柔剣道場	3	1		1	1	1	
	弓道場				1	1		
	水泳プール	1	3		1	1		
	陸上競技場							1
	野球場・ソフトボール場	2	1		5	3	2	2
	庭球場	9	6	2	12	4	4	
	スキー場	1						
社会体育施設	キャンプ場		2	1	3	1	3	1
	多目的運動広場	1	1	1	4	1	2	1
	球技場	1			1			
	アイススケート場	1			1	1	1	1
	ゲートボール場	4	12		26	7	2	4
	※乗馬体験施設					1		
	パークゴルフ場	2	2		2	3	1	1

・庭球場、ゲートボール場はコート面数

馬産地 日高～馬文化を生かした特色ある学習活動の推進～

管内においては、乗馬教室や馬の飼育などを教育活動として位置付けるなど、馬と触れ合う取組が進められています。

小学校の総合的な学習の時間において、日高振興局主催の「馬文化出前教室」の活用等を通じて、調べ学習や児童が直接、馬と触れ合う体験等を行い、馬の生態、牧場、軽種馬産業などについて学んでいます。

高等学校においては、静内農業高等学校が全国でも唯一、馬の育成に関する学校独自の科目「馬学」「馬利用学」を開講し、専門的な学習を行っています。

また、浦河高等学校の馬術部は、馬産地浦河のお正月の伝統行事である騎馬参拝に参加し、地域の伝統・文化のよさや豊かさに気付かせ、その価値や意義を理解させるとともに、郷土への誇りと愛着を育んでいます。

馬産地である日高地方の特色を生かした学習や体験的な活動は、児童生徒が郷土のよさや文化に対する理解を深め、豊かな心を育てるための貴重な機会となっています。



北海道静内農業高等学校における「馬利用学」の様子

文化財等一覧

■文化財

種別	名称	所在地	指定年月日
重要無形民俗文化財	アイヌ古式舞踊	平取町 新ひだか町 浦河町	S59.1.21
		日高町 新冠町 新ひだか町 様似町	H6.12.21
		浦河町	S58.12.6
		新ひだか町三石	H18.3.31
無形文化財	アツシ織り	浦河町	S58.12.6
	淡路豊年榊踊り	新ひだか町三石	H18.3.31
	歌笛越前踊り	新ひだか町三石	H18.3.31
	えりも駒踊り	えりも町	H21.6.10
重要有形民俗文化財	北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	えりも町	H21.6.10
		えりも町	H21.6.10
重要文化財	蝦夷三官寺等澍院関係資料	平取町二風谷	H14.2.12
		様似町本町	H17.6.9
登録有形文化財	北海道大学文学部二風谷研究室(旧マンロー邸)	平取町二風谷	H12.4.28
	飯田家住宅座敷棟	日高町富川	H26.12.19
	飯田家住宅主屋	日高町門別	H27.11.17
有形文化財	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43.3.29
	二風谷遺跡群出土品	平取町二風谷	H24.3.19
	等澍院護摩堂	様似町本町	S40.11.1
	和助地蔵尊	様似町幌満	S44.3.1
	迎賓馬車	浦河町西幌別	S57.3.19
	縄文式土器(後期)	浦河町西幌別	S57.3.19
	弁財天像	様似町本町	S57.10.10
	薬師如来三尊仏像	様似町本町	S57.10.10
	聖観世音菩薩像	様似町本町	S57.10.10
	南無仏太子像	様似町本町	S57.10.10
	等澍院古文書	様似町本町	S58.4.12
	蝦夷一覧	えりも町新浜	S59.1.27
	住吉神社境内江戸時代建立の石碑群	えりも町本町	H14.3.20
	襟裳神社境内江戸時代建立の石碑群	えりも町えりも岬	H14.3.20
	不動明王	えりも町本町	H14.3.20
	一石一字塔	えりも町底野	H14.3.20
	當世武大明神	えりも町底野	H14.3.20
	目黒神社境内江戸時代建立の石碑群	えりも町目黒	H14.3.20
	エゾオオカミ(頭蓋骨)	新ひだか町静内山手町	H18.3.31
	静内中野式土器	新ひだか町静内山手町	H18.3.31
矢本家文書	様似町会所町	H26.6.4	

■文化的景観

種別	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日	摘要
重要文化的景観	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	(平取町)	H19.7.26 H28.3.1 (二次選定)	アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて重要な文化的景観である。

■記念物

種別	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日	摘要
国	シベチャリ川流域チャシ群及びアツツチャシ群	新ひだか町(新ひだか町) 日高町(日高町)	(新ひだか町) (日高町)	H9.12.2	寛文9年(1669年)のシャクシャインの戦いの場として、重要な役割を果たしたといわれる新ひだか町シベチャリ川流域にある静内真取のシベチャリチャシ群、静内入船のホイナシリチャシ群、同流域の静内日名メナチャシ群、静内島屋のオチリチャシ群、静内豊島のルイオピラチャシ群の5万所と日高町厚別川上流にある正和のアツツチャシ群。
	道	門別富仁家盛土墳墓群	日高町富川	(日高町)	S38.12.24
史跡	静内御殿山墳墓群	新ひだか町静内日名	新ひだか町	S38.12.24	縄文後期、晩期の大規模な墳墓群で積石墓である。副葬品の一つ漆器の櫛は他に類例が少ない。
	町	様似山道	様似町(冬島~穂満)	北海道(様似町)	S60.11.19
国	猿留山道と江戸時代建立石碑2体	北海道(えりも町)		H21.4.1	寛政11年(1799年)蝦夷地周辺に頻繁に出没するようになったロシア・アメリカ人などから、蝦夷地(北海道・北方四島など)を整備するため、情報伝達や物資運搬などが容易になるよう陸路の整備が幕府によって行われた北海道における最初の官製道路の一つ。猿留山道沼見峠にある石碑2体は、ともに場所請負人が建立したもの。
	道	ピリカノカ 襟裳岬(わむらひ)	えりも町(えりも岬)	(えりも町)	H22.8.5
国	ピリカノカ 幌尻岳(わらび)	平取町(平取町) 新冠町(新冠町)	(平取町) (新冠町)	H25.10.17	ポロシシカムイ(ポロシリのカムイ)の居城があるカムイミシラ(カムイの岬)として神聖視される日高山脈の最高峰。山上にはト(沼)があり、白熊や海獣、ヘビ、海鳥などの伝承がある。このトは、山頂付近の状況から七つ沼カールを指すと推定される。
	道	ピリカノカ オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	(平取町)	H26.3.18
町	蓬萊山	新ひだか町三石東蓬萊	(新ひだか町)	H18.3.31	海拔60mの超塩基性岩地帯は植物の生きた標本庫として知られており、「イワタケ」のほか、日高固有の植物が豊富に見られ、高等植物300種、コケ類100種が生息している。
	国	アポイ岳 高山植物群落	様似町冬島(北海道)	S27.3.29	様似町からバスで10分、海拔810m日高山脈末端近くに位置しており、寒暖両性の高山植物の宝庫。セダカソウ、アポイメクス等はアポイ岳にのみ生息している。
国	幌漣ゴヨウマツ自生地	様似町幌満(北海道)		S18.8.24	指定地域は335ヘクタール。樹齢150~200年のゴヨウマツを主とする針広混合林で、短枝に五葉葉生とすることからその名があり、その自生地は、樺山の厚沢町と様似町に限られる。
	国	沙流川源流原始林	日高町		S45.12.4
天然記念物	ヒメチャマダラセリ	(主な生息地)北海道		S50.2.13	セセリチョウ科の一種で、ヨーロッパ、シベリア、中国東北部に分布するが、わが国では、アポイ岳のみ隔離分布していることから遺存種と考えられ貴重である。昭和49年5月、北沢生、鈴木茂氏によって発見された。
	道	新冠泥火山	新冠町高江 新冠町	(新冠町)	S43.1.18
町	芽生すずらん群生地	平取町芽生	平取町	H8.4.1	15ヘクタールの広さを有するスズランの自生地であり、保護すべき優れた自然遺産である。